

研究発表会プログラム

原則として日本化学会の会員は、主催者の会員と同等の条件(参加費用)で参加できます。

この欄への掲載については、日本化学会ホームページ www.chemistry.or.jp/journal/kakou-1/program.html をご参照下さい。

なお、日程・内容などが変更になる場合もございますので、最新の情報は各主催者のHPなどでご確認ください。

日本化学会が主催・共催・協賛・後援し、本誌に掲載された討論会に関する情報は、下記本会ホームページからもご覧になることができます。
www.chemistry.or.jp/event/calendar/index.html

令和7年度 化学系学協会東北大会

主催 日本化学会東北支部

会期 9月6日(土)、7日(日)

開催方式 対面式

会場 山形大学米沢キャンパス(米沢市城南4-3-16) [交通] JR「米沢」駅から市街地循環バス右回り「山大正門」下車約15分, JR「米沢」駅からタクシー約10分, JR「南米沢」駅より徒歩約5分 ※駐車スペースが限られていますので、できるだけ公共交通機関をご利用下さい。

参加登録予約申込締切 締め切りしました。当日登録をお待ちしております。

9月6日(土)

特別講演

1. サステナブルエレクトロニクスとしての有機半導体の展望(山形大) 城戸淳二
2. 合成後段階の官能基化を目指した新規有機ラジカル触媒の設計(日本化学会会長・京大院薬) 丸岡啓二

9月7日(日)

3. 加藤セチ 庄内のキュウリー夫人 一その華麗な化学研究の展開(サイエンススタジオ・マリー) 吉祥瑞枝
4. 一般・学生ポスター発表
5. 招待講演:各学協会からの推薦による現在脚光を浴びているテーマ等11件
6. 依頼講演:各学協会からの推薦による研究者講演等31件

7. 一般講演:化学教育研究協議会東北大会

8. 特別企画:有機化学コロキウム4件, 物理化学コロキウム4件

参加登録費 [当日登録] 一般5,000円, 小・中・高教員無料, 教育会員・大学院生3,000円, 高校生, 高専生, 学部生無料(いずれも予稿集代を含む)

懇親会 9月6日(土)18時より, ロイヤルパインズホテル米沢にて開催。会費:当日登録;一般10,000円, 学生5,000円

参加登録予約申込方法 Web

申込先・問合せ 980-8578 仙台市青葉区荒巻字青葉6-3 東北大学理学部化学科内 日本化学会東北支部 電話/FAX(022)224-3883 E-mail: nikka.tohoku@chemistry.or.jp <https://tohoku.chemistry.or.jp/>

“研究発表会プログラム”欄への投稿について

①掲載対象と掲載回数

- ①“プログラム”欄に掲載する行事は、日本化学会の本部、支部、部会、研究会が主催、共催するものに限りま。
- ②“プログラム”欄に掲載する内容は、“一般応募による講演などが中心の行事”のプログラムです。
- ③掲載は1回に限りま。
- ④掲載は、当会の主催を除き、事前に共催の申請後、許諾認可番号を受けたものが対象となります。許諾認可番号のない行事の原稿は掲載できませんのでご注意ください。
- ⑤参加登録費は、原則として日本化学会個人会員が主催者の会員と同等の条件(参加費用)で参加できることが化工誌への掲載条件です。参加費の設定が複数ある場合には、別に本会会員の参加費を明記して下さい。例:○○学会会員10,000円, 日本化学会会員10,000円, 共催団体15,000円, 非会員20,000円

②字数制限と掲載料金

- ①本会主催(共同主催及びその意味の共催を含む)のものは原稿量の制限はありませんが、必要最小限の内容として下さい。内容によっては一部削除、修正する場合があります。
- ②共催(主催団体が別にあり本会が共催するもの)のものは、900字以内であれば掲載料は無料となりますが、超過した場合には超過分900字につき17,000円の有料掲載となります。
- ③本会協賛または後援のものは、原則として“プログラム”欄には掲載できません。掲載される場合は900字につき17,000円の有料掲載となります。

③原稿締切日と掲載月

- ①原稿締切日は、毎月25日です(前月26日から当月25日までの投稿原稿は自動的に翌月号に掲載となります)。
- ②掲載日以降に掲載希望の場合は、専用投稿フォーマットの“連絡事項”欄に明記して下さい。

④原稿作成と投稿方法

- ①原稿は専用投稿フォーマットを使用して下さい。
- ②原稿の様式は、最近号の“プログラム”欄をご参照下さい。所定の様式になっていないものは内容を省略し、会期、会場、申込先のみを掲載します。
- ③専用フォーマット使用方法
 - A) 原稿は、専用投稿フォーマットでの電子投稿となります。必要事項を入力後「記事内容」欄に表記して下さい。
 - B) 数字、英文字は半角で入力して下さい。
 - C) 機種に依存する文字の注意:機種に依存したり、インターネットでの転送を保証されていないため使用できない文字がありますのでご注意ください。

【使用できない文字例】

- ・半角カナ; アカカ, 記号(約物); ,。 [(./ 等
- ・ローマ数字; I II III IV, 丸数字; ①②③④

※アルファベットのI, V, X, Vを組み合わせてローマ数字を表現。

※文字の代わりに(1)(2)の表記を使用。

※組文字は全角(株)(有)mmでの表記にする。

【使用可能な文字例】

・全角カナ, 全角記号

- D) テキスト上で表現できない文字(外字, 作字)については使用を避けて下さい。なお、人名・地名等の固有名詞で止むを得ない場合は●で代用し、投稿フォーマットの「連絡事項」欄に●印の指示を記入して下さい。
- E) 文章中で書式指定(上付き, 下付き, イタリック体)を希望の場合は、タグ付け(HTML形式)をして下さい。

【見本】・上付; $P^{2+} \rightarrow P < \text{SUP} > 2 < / \text{SUP} >$

・下付; $CO_2 \rightarrow CO < \text{SUB} > 2 < / \text{SUB} >$

・イタリック; *italic* $\rightarrow < \text{I} > italic < / \text{I} >$

- F) 「記事」を添付ファイルとして送信する場合は“MS-Word”ファイルをご利用下さい。圧縮ファイルは使用しないで下さい。「記事内容」欄を空欄にし、次の内容確認画面でファイルのアップロードして下さい。「記事内容」欄にデータがあると、アップロードはできません。どちらかの択一となりますのでご注意ください。投稿後、原稿の校正はありませんので間違えないように作成して下さい。

- ④原稿の作成が終わりましたら、画面下の送信内容確認ボタンをクリックし、送信内容をご確認下さい。内容確認後、送信ボタンをクリックすると投稿が完了します。投稿後、原稿の校正はできませんのでご注意ください。

- ⑤投稿が完了すると、受理通知メールが発信人宛に返信されます。受理通知メールにて、受付番号、掲載予定号、投稿内容が確認できます。受理通知メールが届かない場合は、正常に原稿が受理されていないおそれがありますので、必ず受理通知メールをご確認下さい。
- ⑥投稿された原稿は、編集部により所定の様式に整理して掲載いたします。

⑤送信後に大幅な訂正が生じた場合

- ①原稿締切日(当月25日)まで;投稿フォーマットの“連絡事項”欄に先に投稿した際の受理通知メールに記載の受付番号、受理通知メール受信日と原稿差替えの旨を記入し再投稿して下さい。その際、E-mailにて三美印刷宛その旨をご通知下さい。
- ②原稿締切日以降は原則として訂正はできません。

⑥問合せ

【修正に関する問合せ】

三美印刷「化学と工業」誌編集部
電話(03)6807-8212 E-mail: kakou-shi@sanbi.co.jp

【投稿・請求に関する問合せ】

日本化学会学術情報部「化学と工業」誌事務局
E-mail: kakoshi@chemistry.or.jp